

第14回 IBAF 16U 世界選手権(メキシコ/2011) 試合結果

14th IBAF 16U Baseball World Championship - Mexico

2011年8月27日

大会第9日 天候 晴

球場名: PANAMERICANO(ラゴ デ モレノ)

試合開始 19:10 試合終了 22:20

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
JPN	1	2	0	0	2	0	0	0	1	2	8
USA	0	0	0	0	3	0	1	0	2	0	6

バッテリー

延長10回 タイブレーク

JPN P) 浅間、江頭、安田、馬場、立田

C) 中嶋、中島

USA P) FARINARO、TOUSSAINT、SANDS

C) CIUFFO、PABST

二塁打 安田(J)、中嶋(J)、MERCADO-HOOD(U)

三塁打 釘宮(J)、UNROE(U)

本塁打 COLLINS(U)

主審: TC:

【戦評】日本は1回、安部が内野安打で出塁し、続く安田が左越えの二塁打を放ち先制点をあげた。2回には立田の左前安打、中嶋の右越え二塁打などで無死満塁とし、併殺崩れの際に1点、さらに安部のスクイズで3点目をあげた。5回には釘宮が三塁打で口火を切り、捕手の暴投で生還。四球で出塁した安田はバークで二進し、馬場の中前安打で生還、5点のリードを奪った。アメリカはその裏、5安打を集中させ、日本先発の浅間から3点をあげる。その後、1点ずつを取り合い、日本の2点リードで9回裏を迎えた。アメリカは先頭打者が内野安打で出塁。四球で1、2塁とし、盗塁と日本守備陣のミスが重なり、2者が生還。土壇場で同点に追いつかれた。無死1、2塁から攻撃を始めるタイブレークとなった延長10回、日本はバッテリーエラーでそれぞれ進塁したあと1死2、3塁から三塁手のエラーで1点、さらに馬場の内野安打で2点目をあげアメリカを突き放した。最終回、立田がアメリカ打線を3人で押さえ、ここまで全勝だったアメリカに土をつけた。

キューバ 7 - 4 中華台北
 ベネズエラ 9 - 8 オーストラリア
 USA 6 - 8 日本
 メキシコ 雨天順延 オランダ
 (3位決定戦の前にアグアスカリエンテスで行う)